

高齢者看護学特論

単位数：2 単位（時間数：30 時間）

開講年次及び学期：1 年次前期

○原 祥子：地域・老年看護学講座 教授
加藤 真紀：地域・老年看護学講座 准教授

1. 科目の教育方針

複雑な健康問題をもつ高齢者とその家族に対して高度な看護援助を展開するためには、老年看護に関する基本的な概念や諸理論に基づき、加齢のプロセスで生じる健康問題と生活・人生への影響について適切な判断と評価を行うことが求められる。老年看護の基本的概念や理論を学び、それらを看護実践に活用できる能力の開発を目指す。

2. 教育目標

- 1) 老年看護に関する基本的概念や理論について理解する。
- 2) 老人看護専門看護師の役割と機能について理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【方法と進め方】

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。

Teams によるライブ配信を中心とする。

【評価】

文献抄読レポート、プレゼンテーション内容、討論での取り組みと貢献度等により総合的に評価する。

4. 使用テキスト、参考文献等

テキストは指定しない。参考文献等を適宜提示する。

【参考文献】

- 1) E.H. エリクソン, J.M. エリクソン, H.Q. キヴニック：老年期, みすず書房, 1997.
- 2) E.H. エリクソン, J.M. エリクソン：ライフサイクル・その完結, みすず書房, 2001.
- 3) プリシラ・エバーソール, 他：ヘルシー・エイジング, エルゼビア・ジャパン, 2007.
- 4) キャサリン・コルカバ：コルカバ コンフォート理論, 医学書院, 2008.
- 5) 安梅勅江：エンパワメントのケア科学 当事者主体チームワーク・ケアの技法, 医歯薬出版, 2004.

5. 教育内容

回	月/日	内 容	講師
1	4/13	老いを生きる人を理解するための理論 ・加齢に関する理論 ・適応とサクセスフルエイジング ・生涯発達理論、ライフサイクル理論	原
2	4/20		原
3	4/27		原
4	5/11	老いを生きる人々の健康生活を支える看護（1） ・高齢者の全体論的視点、高齢者看護の定義	原
5	5/18	老いを生きる人々の健康生活を支える看護（2） ・「老いを生きること」に関する文献 ¹⁾²⁾ の抄読 （プレゼンテーションと討論）	原
6	5/25		原
7	6/1	高齢者/家族へのヘルスケア提供モデル：コンフォート理論 ・高齢者看護におけるケアの枠組みとコンフォートの概念 ・コンフォート理論の高齢者ヘルスケア実践への適用 ・看護師/ヘルスケア提供者のコンフォートに焦点をあてたモデルの分析 ・コンフォート理論を活用した高齢者/家族ケアの展開 （事例検討）	加藤
8	6/8		加藤
9	6/15		加藤
10	6/22		加藤
11	6/29	高齢者の人権と権利擁護（健康生活を営む権利と自己決定）	加藤
12	7/6	「その人らしさ」という概念とライフストーリー・アプローチ	原
13	7/13	エンパワメントの概念と老年看護における活用	原
14	7/20	専門看護師制度設立の背景と専門看護師の要件	原
15	7/27	老人看護専門看護師の役割と機能、活動の拡大 エビデンスに基づく実践（EBP）の実行	原